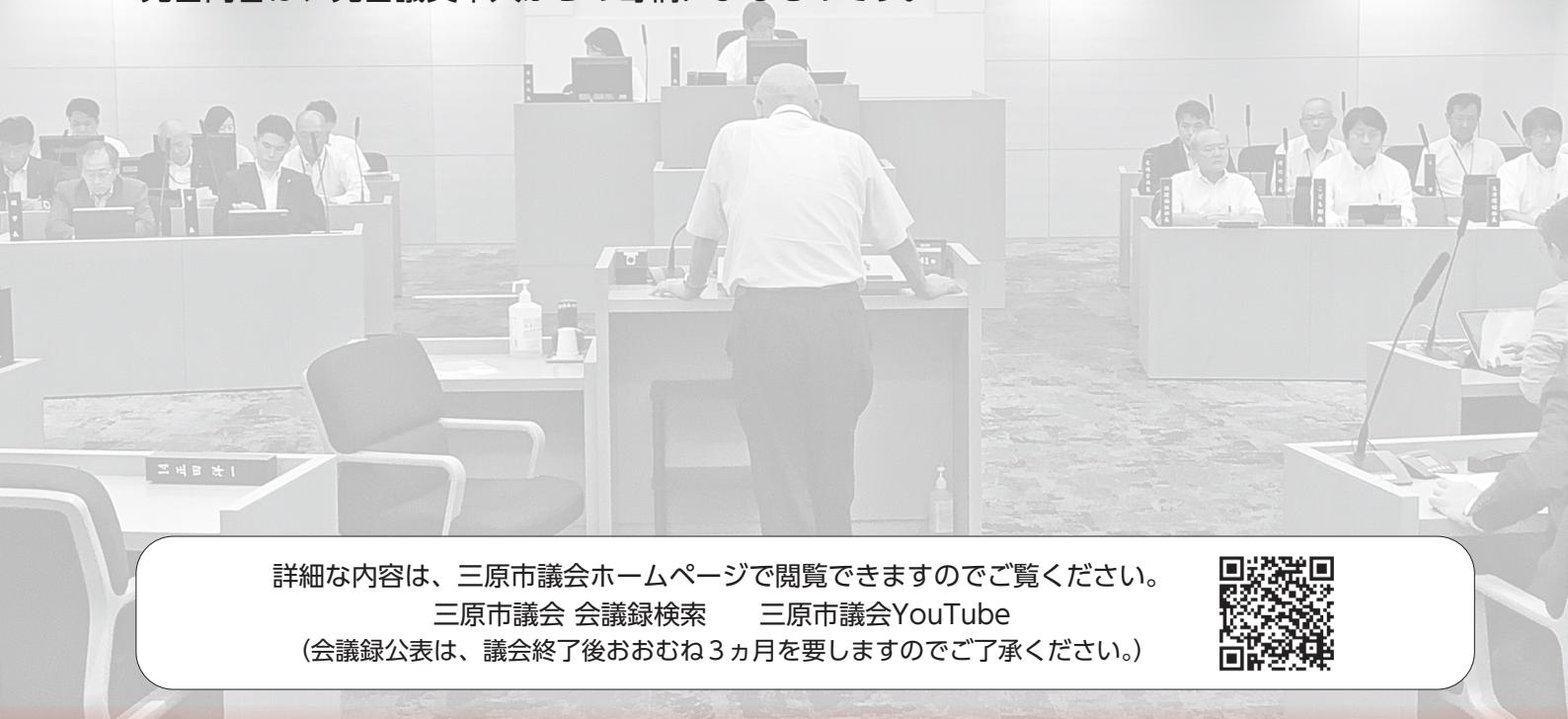


# 令和7年9月定例会 一般質問

# 市政を問う

定例会では9月11日、12日に一般質問が行われ、15人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目程度に要約して掲載しました。  
発言内容は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



詳細な内容は、三原市議会ホームページで閲覧できますのでご覧ください。

三原市議会 会議録検索 三原市議会YouTube  
(会議録公表は、議会終了後おおむね3ヶ月を要しますのでご了承ください。)



\*各議員のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの一般質問をご覧いただけます。

**意見** 教育違つてゐる  
体的に人権に切り込んでいいの  
は違うと思う。今後も議論のテーマにした



リニューアル移転した  
歴史民俗資料館

ついて、確実に履行されていることを確認していると県から報告を受けている。本市としても、再開後は、水質検査箇所を増やすなど監視を強化している。

問 県への働きかけを広域的に行ないたいとの考えを示されたが、どの範囲を考えているか。

答 同じ課題を抱え影響を受けている竹原市と連携しながら、さらなる広域的対応を検討していく。

**答** ①この度のオープンは、時系列に並べ詳細な説明でなく基本情報報を大まかな説明としている。  
②治安維持の仕組みや役割について町奉行や町役人だけではなく、その他の人々の役割について更に研究し、展示したいと考えている。

**歴史民俗資料館の展示について**

今年8月1日にリニューアル移転した歴史民俗資料館の内容について、次の点を問う。

① 資料館の展示に、庶民、特に農民の姿が反映されていないのは、なぜか。

A black and white portrait of Masahiro Tomoharu, an elderly man with short, light-colored hair, wearing a light-colored shirt. The photo is set within an oval frame.

## 歴史 本郷産 てついて

**本郷産業廃棄物最終処分場について**

答 汚染水を出させないため県や市はどう対応しているのか。

答 県に確認したところ、昨年11月から、今年4月まで正常な状態で安定していたことから、汚染源がすでに消失しているものと考えられる。これは、専門家の意見を踏まえた判断だと伺っている。どのように行われているか。

問 汚染水を出さない措置は、どのように行われているか。

答 一き焼き、漫透化等の行政企

**問** 県への働きかけを広域的に行ないたいとの考えを示されたが、どの範囲を考えているか。



たなかひろき  
**田中 裕規**

■農道鷺浦町5号線整備工事について  
■シーズピカの到着地変更について  
■公共施設等への防犯カメラ設置による防犯対策について



## 農道鷺浦町5号線整備工事について

いて

問 農道約1kmの4分の3が民有地であることを承知で1億1350万円の道路整備を決定したのか。

答 市として認識の上で事業を進めてきた。

問 民有地への公費支出について議会への説明がない。説明できない理由があるのか。

答 予算特別委員会で説明の上、議決いただいたものと認識している。

問 この農道の約60%はノットアホルや関係団体に売却されている。工事資金調達のための銀行の抵当にも充てられている。そこに1億円近くの公費で道路整備をするのは特定企業への利益供与にあたり明らかに違法ではないのか。

問 観光客が増える見通しをどう試算して公益性があると言つているのか。

答 観光ビション等の目標達成に資する事業であり公益性がある。



おかだなおき  
**岡田 直己**

■ファーストマイホーム応援事業の拡充について



## ファーストマイホーム応援事業の拡充について

間

指定するエリアで新築を購入し補助申請をしたが、注文住宅ではなく、建売住宅であるため、補助対象外となる事例が発生している。

問 根拠のない希望的観測だけで約1億円の公費支出はありえない。地方自治法に基づけば、民有地への公費支出は原則違法であると考えるがどうか。

答 本市の経済効果につながる公

益性のある観光振興施策である。

問 シーズピカの到着地変更について  
答 高速観光船シーズピカの東の発着地が3月に三原から尾道港に延伸となつたが、理由をどう捉えているのか。

問 尾道市はJR西日本と毎週情報交換し、新しい企画をどんどん提案している。何も動かない本市と、企画力と情熱に大きな差が出ている。新たな企画を提案できる

答 今回の事例は、既にモデルハウス設置補助事業で補助を受けた建物が所在するエリアであることから、建売住宅として販売されたものについては対象外となつた。

このことは、市ホームページや制度の説明チラシに情報を掲載し、周知しているところである。

答 一方で、このモデルハウス設置補助事業で補助を受けたモデルハウスは近年完売したことや、引き続き50区画の分譲地の販売を続けている現状なども踏まえ、建売住宅を取得する場合も補助対象となるよう、今後、見直しを検討していく。

問 現在、行政と民間事業者が連携し、観光振興に関する会議等を重ねている。民間の発想やスピード感を活かして小さな取組を積み重ねることで大きな成果につなげられるのか。



■ファーストマイホーム応援事業の拡充について



## 更なる移住・定住促進における本郷南3・4丁目にある東本通土地区画整理事業の保留地11区画を補助対象エリアに加えてはどうか。

問 本市では、東本通土地区画整理事業においても新たな宅地造成を進めており、こちらについても分譲を進めていきたいと考えている。今後、補助対象エリアとして東本通土地区画整理地内の宅地を加えることを検討していく。

答 本市では、東本通土地区画整理事業においても新たな宅地造成を進めており、こちらについても分譲を進めていきたいと考えている。今後、補助対象エリアとして東本通土地区画整理地内の宅地を加えることを検討していく。

問 現状の補助対象年齢を40歳から45歳へ拡充すれば、更なる移住・定住に繋がると考えているがどうか。

答 現時点では、市が抱える課題や市として推進する施策の方向性と合致する年齢層を補助対象者として設定しているが、今後、住宅ローンを組む年齢や他都市の状況など研究していく。





むらかみ まい  
村上 真以

■ 放課後児童クラブについて  
■ 市職員の働き方改革について



放

課後児童クラブについて

児童クラブは、子育て支援の中でも大きな役割を担っている存在であり、特に夏休みなど、利用者が増加傾向にあると思うが、一人当たりの専用スペースについて、また、広い場所を活用した環境を整える考えについて問う。

答 児童一人当たりの専用区画面積は1・65平方メートル以上と規定しており、現在、各児童クラブは全てこの基準を満たしている。夏休みなどには、児童クラブ室内に加え、小学校の教室や近隣の公共施設などを臨時に活用し、広い空間での活動を行っている。

問 児童一人当たりのスペースは規定を満たしているようだが、利用定員ギリギリの施設では、広いスペースの確保を求める声がある。市の考え方を問う。

放

課後児童クラブについて  
市職員の働き方改革について

今後も関係者と連携し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めていく。

市職員の働き方改革について

①適切な職員配置について②働き方改革関連法の上限超過者数とその対応について③ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組について問う。

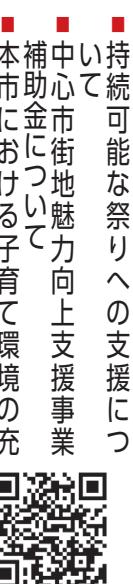
答 ①業務量の把握のため、年2回、全ての部課長に職員配置に関するヒアリングを行い、業務量に応じて対応している。②令和6年度に基準を超過した職員は、月45時間以上を超えた職員が102名、年360時間を超えた職員が43名。基準を超過する時間外勤務を行つた職員に対しては、面談を実施するなど健康への配慮に努めている。③心の健康づくり計画を策定し、講座を実施するなど未然防止に努めている。

問 育児休業の取得状況を問う。

答 女性職員の育児休業は100%で、男性職員も、市長がイクトボス宣言を行って以降、令和6年度には19名と着実に増えている。引き続き職員への周知に努める。



いしい かつあき  
石井 克昭



持続可能な祭りへの支援について

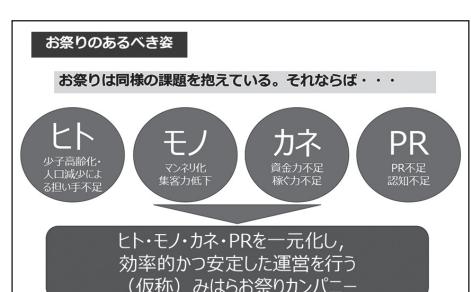
祭りの経済効果を高めるため、駅乗降客数、宿泊者数、周辺店舗売上などを把握・分析し、祭りの企画運営に反映する体制が必要ではないか。また、ヒト・モノ・力ネ・PRの不足により地域文化やコミュニティ、地域経済が衰退している現状に対し、どのような解決方法を考えるか問う。

答 市が把握する情報等を「祭り振興協議会」などと共有し、分析、活用するとともに、本市の観光ビジョンに沿った観光客数、観光消費額などの目標達成に向けて連携していく。さらにどの祭りにも共通する課題を解消していくため、横断的、一体的な運営によって支援を行っていく。

猛暑にも対応した屋内の遊び場の誘致について

問 持続可能で発展的な運営システムとして官民連携による「(仮)みはらお祭りカンパニー」の発足によりプロデュース機能を持たせ、年間を通じた総合的な運営体制を構築してはどうか。

答 祭り振興協議会をはじめ、関係団体と課題を共有しながら研究していく。



「(仮)みはらお祭りカンパニー」を発足してはどうか

問 必要性を強く認識している。設置場所や規模、費用やその財源などを検討していく。

答 ぜひとも実現していただきたい。改めて市長の考え方聞く。

答 今、市民ニーズが非常に高まっている。気候変動などの暑さ対策を考えると、必要性を感じている。遊び場の誘致について積極的に検討を進めるとともに、方について研究も行いたい。